

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 798 号	氏名	木下 博文
学位審査委員	主 査	小路 武彦	
	副 査	川上 純	
	副 査	有賀 純	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、網膜硝子体細胞や組織への <i>in vitro</i> 及び <i>in vivo</i> 伸展刺激の網膜血管新生に密接に関連する細胞内コハク酸動態への影響を検討したもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>本研究では、<i>in vitro</i> 系での検討として、ヒト網膜色素上皮細胞 ARPE19 培養への機械的伸展刺激を行いコハク酸及び VEGF 濃度を測定すると共に、種々のシグナル伝達系酵素等の阻害剤の効果を検討した。更に <i>in vivo</i> 系の検討として、SHR ラット高血圧モデルにて血圧と網膜硝子体中のコハク酸濃度の関連を検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>以上の検討の結果、高血圧モデルとしての機械的伸展刺激の時間・振幅依存的な細胞内コハク酸濃度の増大と Ca^{2+}キレーターによる有意な減少を見出した。また、SHR ラットモデルにて血圧の増大に伴う網膜硝子体中コハク酸濃度の有意な増加を示した点、これらの研究結果は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は高血圧に伴う網膜血管病変のメカニズム解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			